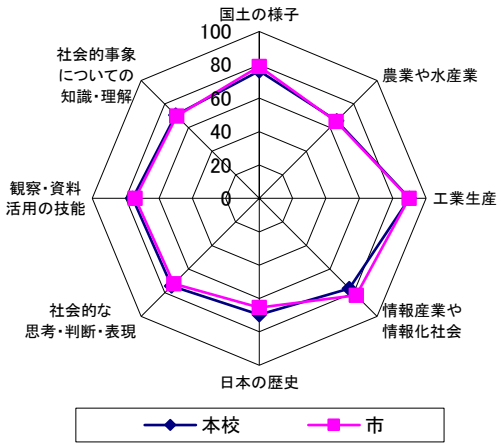
宇都宮市立桜小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	76.4	79.1	74.9
	農業や水産業	65.7	65.1	63.7
	工業生産	90.0	89.7	86.2
	情報産業や情報化社会	76.4	82.2	73.1
	日本の歴史	69.7	65.4	65.6
観点別	社会的な思考・判断・表現	74.2	72.2	69.0
	観察・資料活用の技能	75.8	74.3	69.2
	社会的事象についての知識・理解	70.7	69.9	69.3

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	●ほとんどの設問で正答率が市の平均を若干下回っている。日本の周辺の海洋名を答える設問では，10ポイント以上市の平均を下回った。	・国土の様子について，フラッシュカードを用いるなどして興味をもたせながら，復習をさせるようにしたい。
農業や水産業	○食料自給率と食料輸入額の関係や，国産と外国産の農産物の値段の違いについての正答率が市の平均を超えており，学習内容を理解できている。 ●米作りについて考える設問では，正答率が市の平均を下回った。	・米作りやその他の食料生産について，ニュースや新聞などを紹介するなどして，分かったことや考えたことを書いたり発表したりする機会を授業などで増やしていきたい。
工業生産	○工業製品の種類についての問題は，90．9%と高い正答率であった。	・引き続き日本の工業生産に興味をもたせながら，自分の生活と学習していることを関連付けて理解させていくようにしたい。
情報産業や情報化社会	●医療での情報ネットワークの利便性について，資料を読み取り考える問題の正答率が市の平均を下回っている。	・学活や道徳科などで情報について学習する機会を生かして知識や理解を高めるだけでなく，実践力（スマホ等の活用時の留意点など）も高めていきたい。
日本の歴史	○歴史については，どの時代もよく理解しており，正答率は市の平均を上回っている。特に鎌倉・室町時代については大きく上回った。 ●問題の難易度により正答率の差がある。文明開化についての設問では，正答率が市の平均を下回った。	・正答率の低かった設問について，授業で確認し復習させるようにする。